



2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年8月7日

上場会社名 サンリン株式会社 上場取引所 東
コード番号 7486 URL <http://www.sanrinkk.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 塩原 規男
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長兼経理部長 (氏名) 小原 正彦 TEL 0263-97-3030
四半期報告書提出予定日 2023年8月9日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	6,396	△1.2	△82	—	21	△80.9	1	△97.7
2023年3月期第1四半期	6,473	13.9	12	—	113	83.8	66	58.5

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 139百万円 (—%) 2023年3月期第1四半期 4百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	0.12	—
2023年3月期第1四半期	5.41	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	25,756	18,704	72.6
2023年3月期	26,680	18,834	70.6

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 18,704百万円 2023年3月期 18,834百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	22.00	22.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	0.00	—	22.00	22.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	13,000	—	100	—	200	—	200	—	16.29
通期	32,000	△2.6	650	27.1	1,100	34.8	800	48.8	65.14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期1Q	12,300,000株	2023年3月期	12,300,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	19,590株	2023年3月期	19,590株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期1Q	12,280,410株	2023年3月期1Q	12,280,410株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に対する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症が感染症法上の5類に移行されたことにより経済活動の正常化が進み、景気は緩やかな回復基調となりました。一方で、世界的な金融引き締め等を背景とした海外景気の下振れ懸念に加え、ロシア・ウクライナ情勢の長期化等による原材料や資源価格の高騰に伴い国内でも急激な物価上昇が続いており、依然として先行きの不透明な状況が続いております。

当社グループ関連のエネルギー業界に関しましても、ロシア・ウクライナ情勢の長期化等による資源価格の高騰やエネルギー価格の急激な変動が継続しており、今後も国際エネルギー情勢の動向を注視していく必要があり、当社を取り巻く事業環境は引き続き厳しい状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは地域密着型生活関連総合会社として地域との密接なつながりを活かし、安心・安全なエネルギーの安定供給に努めるとともに、「中期経営計画(2022~2024年度)」に基づき信頼性の高い企業グループの構築に向けサステナブル経営を実践し、企業価値の向上に努めてまいりました。

営業活動におきましては、コロナ禍における非接触型でのお客様との接点強化策として好評をいただいております「紙面展示会」及びWeb上での「バーチャル展示会」を本年も6月に開催し、政府の各種住宅支援事業が継続されたことによる消費動向の高まりもあり、断熱リフォームや省エネ・時短・ラク家事に貢献する機器等を中心に住宅関連設備機器の販売において昨年度を上回る成果を上げることができました。

主力でありますLPガス事業におきましては、販売数量は気温差による単位消費量の減少等により前年同四半期比で減少となりましたが、M&A(事業譲受)による顧客の増加を図るとともに、開発部門を増員し新規物件等の開拓により顧客件数を増加させ、市場競争力の強化に取り組んでまいりました。

石油事業におきましては、給油所での燃料油の販売数量が行動制限の解除により回復に向かうことが期待されましたが、価格高騰の影響や前年度1給油所を閉鎖したこと等により前年同四半期比で減少となりました。

電気事業におきましては、顧客件数は前年同四半期比で増加しましたが、燃料費調整単価の高騰が継続していたことから契約件数の伸びは鈍化しました。一方、太陽光発電システムや蓄電池の販売におきましては、創エネや蓄エネへの関心の高まりに加え、高騰した電気料金削減への意識を反映し、大幅に受注増加となりました。

また、子会社におきましては、不動産事業において宅地分譲が好調であったことから、売上・利益とも前年同四半期比で増加となりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、不動産事業で増収となりましたが、エネルギー関連事業がLPガス及び石油類の販売数量減少等の要因により減収となり、6,396百万円(前年同四半期比1.2%減)となりました。

利益面におきましては、LPガスの仕入価格の下落に伴った棚卸影響による売上原価の増大、電気事業の電力調達価格高止まりによる利益減少及びグループ全社の光熱費や配送コストの高騰等の要因により、営業損失82百万円(前年同四半期は12百万円の営業利益)、経常利益21百万円(前年同四半期比80.9%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益1百万円(前年同四半期比97.7%減)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

(エネルギー関連事業)

LPガス及び石油類の販売数量減少等により、売上高は5,572百万円(前年同四半期比5.8%減)となりました。セグメント損失は、LPガスの仕入価格の下落に伴った棚卸影響による売上原価の増大及び電気事業の電力調達価格高止まりによる利益減少等により74百万円(前年同四半期は63百万円のセグメント利益)となりました。

(製氷事業)

大口取引先への売上が増加したことから、売上高は91百万円(前年同四半期比10.0%増)となりました。セグメント損失は新工場の償却費負担は減少したものの売上原価における原材料仕入と光熱費の増加等により7百万円(前年同四半期は6百万円のセグメント損失)となりました。

(青果事業)

きこの類の出荷量増と販売価格の高値推移等により、売上高は477百万円(前年同四半期比24.0%増)となりました。セグメント損失は売上増の影響等により20百万円(前年同四半期は54百万円のセグメント損失)となり、前年から改善いたしました。

(不動産事業)

宅地分譲の販売が順調に進んだことから、売上高は164百万円(前年同四半期比627.8%増)、セグメント利益は10百万円(前年同四半期は6百万円のセグメント損失)となりました。

(その他事業)

運送事業・建設事業等のその他事業におきましては、建設事業において前年に比べ工事件数が増加したことから、売上高は90百万円(前年同四半期比32.1%増)、セグメント利益は9百万円(前年同四半期は6百万円のセグメント損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末比923百万円減少し、25,756百万円となりました。その主な要因は、受取手形、売掛金及び契約資産の減少を主因とした流動資産の減少1,033百万円、投資そ

の他の資産の増加141百万円等によるものであります。

負債は、前連結会計年度末比793百万円減少し、7,052百万円となりました。その主な要因は、支払手形及び買掛金の減少768百万円等によるものであります。

純資産は、利益剰余金の減少及びその他有価証券評価差額金の増加等により前連結会計年度末比130百万円減少し、18,704百万円となりました。この結果、自己資本比率は72.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、取扱い商品の性質上季節的変動が大きなL P ガス及び石油類等のエネルギー関連事業の第3四半期及び第4四半期に占めるウェイトが高く、また為替や原油価格の動向、燃料類の仕入価格や気候の変動等、当社グループの売上高及び利益面における価格並びに数量に対し不確定な要素を含むため、現時点では2023年5月11日発表時の業績予想の修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,700	6,321
受取手形、売掛金及び契約資産	4,301	3,021
商品及び製品	1,713	1,646
仕掛品	28	41
原材料及び貯蔵品	663	654
その他	509	196
貸倒引当金	△2	△0
流動資産合計	12,914	11,881
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	10,149	10,104
減価償却累計額及び減損損失累計額	△7,595	△7,590
建物及び構築物(純額)	2,553	2,513
機械装置及び運搬具	5,726	5,658
減価償却累計額及び減損損失累計額	△5,019	△4,974
機械装置及び運搬具(純額)	706	684
工具、器具及び備品	3,353	3,309
減価償却累計額及び減損損失累計額	△2,903	△2,867
工具、器具及び備品(純額)	449	442
土地	4,470	4,478
建設仮勘定	307	342
有形固定資産合計	8,488	8,461
無形固定資産		
その他	201	197
無形固定資産合計	201	197
投資その他の資産		
投資有価証券	4,644	4,801
繰延税金資産	113	106
退職給付に係る資産	13	11
差入保証金	147	141
その他	190	191
貸倒引当金	△35	△35
投資その他の資産合計	5,075	5,217
固定資産合計	13,765	13,875
資産合計	26,680	25,756

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,341	1,573
短期借入金	2,670	2,675
1年内返済予定の長期借入金	78	76
未払法人税等	107	0
賞与引当金	270	107
その他	681	884
流動負債合計	6,149	5,317
固定負債		
長期借入金	411	393
繰延税金負債	106	171
役員退職慰労引当金	184	180
退職給付に係る負債	667	671
資産除去債務	162	154
その他	163	162
固定負債合計	1,695	1,735
負債合計	7,845	7,052
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,512	1,512
資本剰余金	1,248	1,248
利益剰余金	15,151	14,882
自己株式	△12	△12
株主資本合計	17,899	17,631
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	939	1,076
退職給付に係る調整累計額	△4	△3
その他の包括利益累計額合計	935	1,073
純資産合計	18,834	18,704
負債純資産合計	26,680	25,756

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	6,473	6,396
売上原価	5,011	5,020
売上総利益	1,462	1,375
販売費及び一般管理費		
貸倒引当金繰入額	3	△1
給料及び手当	469	468
賞与引当金繰入額	88	86
退職給付費用	19	20
役員退職慰労引当金繰入額	7	7
その他の人件費	147	154
減価償却費	99	101
消耗品費	165	172
その他	450	448
販売費及び一般管理費合計	1,450	1,458
営業利益又は営業損失(△)	12	△82
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	51	76
受取賃貸料	8	8
持分法による投資利益	2	—
その他	43	38
営業外収益合計	106	124
営業外費用		
支払利息	1	1
持分法による投資損失	—	15
その他	2	2
営業外費用合計	4	19
経常利益	113	21
税金等調整前四半期純利益	113	21
法人税等	47	20
四半期純利益	66	1
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	66	1

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	66	1
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△56	129
退職給付に係る調整額	2	1
持分法適用会社に対する持分相当額	△7	8
その他の包括利益合計	△61	138
四半期包括利益	4	139
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4	139
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					その他(注)	合計
	エネルギー 関連事業	製氷事業	青果事業	不動産事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	5,914	83	384	22	6,405	68	6,473
セグメント間の内 部売上高又は振替 高	48	—	—	—	48	216	264
計	5,962	83	384	22	6,453	285	6,738
セグメント利益又は 損失(△)	63	△6	△54	△6	△3	△6	△10

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送事業、建設事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位: 百万円)

利益	金額
報告セグメント計	△3
「その他」の区分の損失(△)	△6
セグメント間取引消去	22
棚卸資産の調整額	0
四半期連結損益計算書の営業利益	12

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					その他(注)	合計
	エネルギー 関連事業	製氷事業	青果事業	不動産事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	5,572	91	477	164	6,305	90	6,396
セグメント間の内 部売上高又は振替 高	39	—	0	—	39	250	290
計	5,612	91	477	164	6,345	341	6,686
セグメント利益又は 損失(△)	△74	△7	△20	10	△92	9	△82

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送事業、建設事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位: 百万円)

利益	金額
報告セグメント計	△92
「その他」の区分の利益	9
セグメント間取引消去	0
棚卸資産の調整額	0
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△82

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。